

取扱説明書 Ver 1.00

TP-623R

リビングシェル



このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

■ セット内容



ベグケース×1



シームシーリング剤
×1



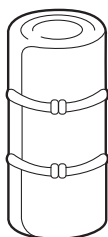
ジュラルミンベグ
×22本



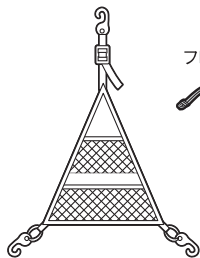
Oリング付ロープ
2m×4



自在付ロープ
3.5m×4、7m二又×2



リビングシェル×1
コンプレッションパネル×2

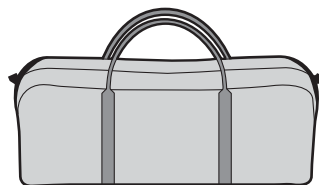
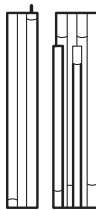


三角ポケット×2

フレームケース×1



Aフレーム×2
Aフレームリッジポール×1
Cフレーム×2
アップライトポール190cm×2



キャリーバッグ×1

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのベグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ベグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

取扱上の注意

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりシェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、最新の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



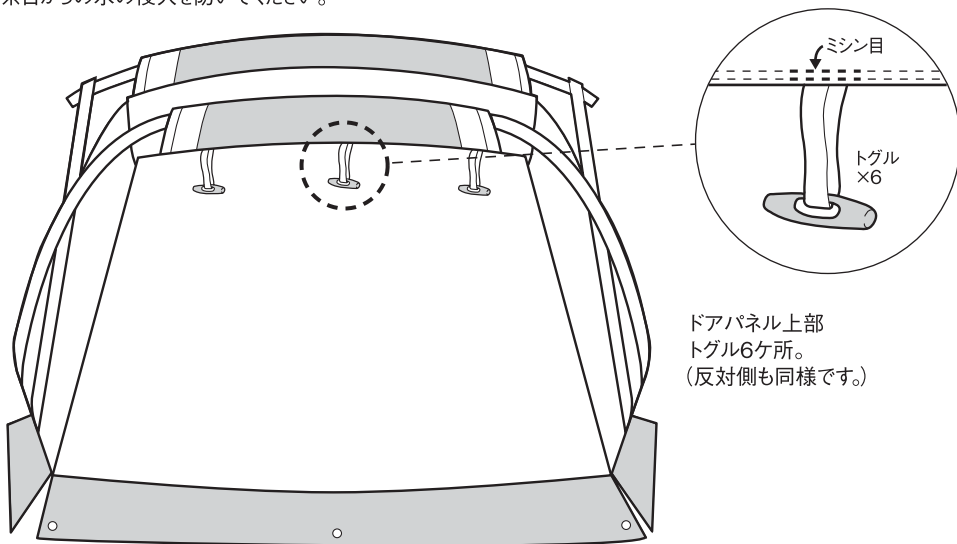
⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかり支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ベグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- シェルター素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。

使用前の準備

シームシーリング剤による目止め

ループやトグルを縫いとどめているミシン目を外側からシームシーリング剤を塗布し、糸目からの水の侵入を防いでください。

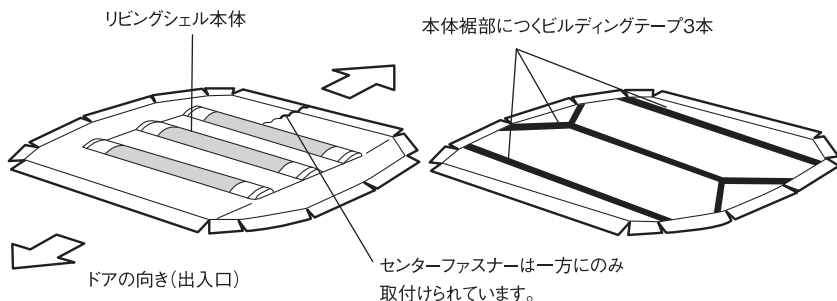


図はリビングシェル出入り口です。

設営の手順

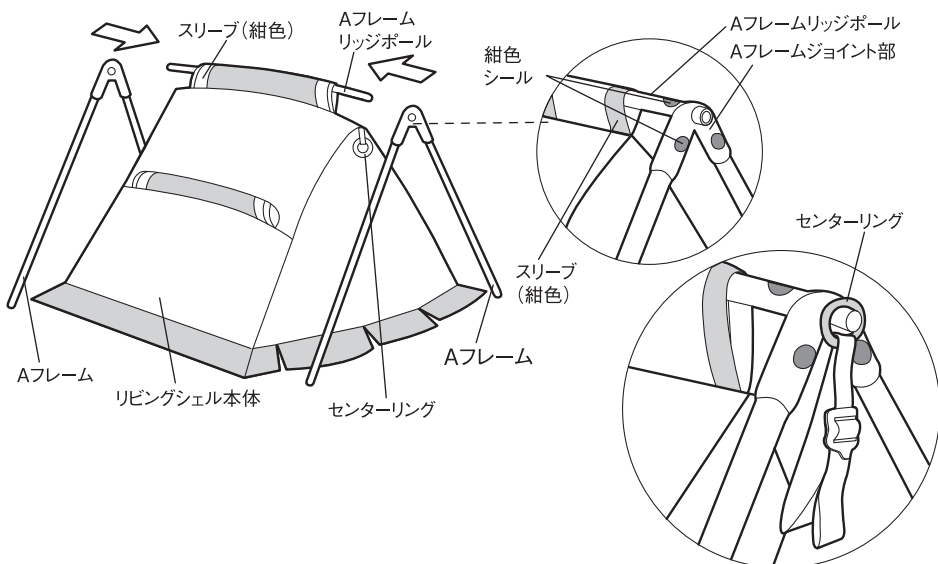
① リビングシェル本体を設営しようとする場所に広げます。その時2つある出入口用ドアパネルの向きおよびセンターファスナー(テントドッキング用)の向きを考慮してください。

注) ビルディングテープ3本ともバックルが接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続をしてください。



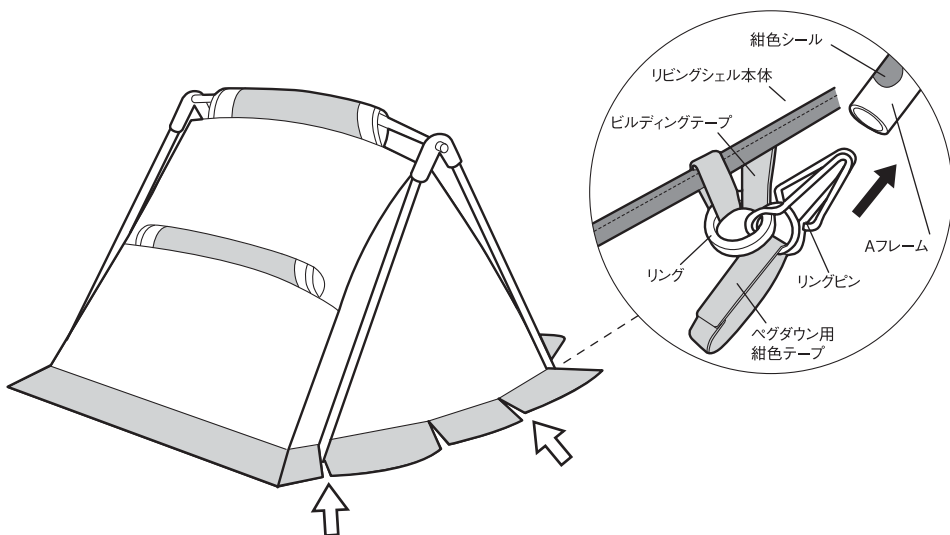
② 初めに、紺色のシールのついたAフレームリッジポールを真中の紺色テープのスリーブに入れます。そしてAフレームジョイント部についている2個の紺色シールが外側に向く様にリッジポールをさし込みます。リッジポールの端がAフレームジョイント部の最後までしっかりと入った事を確認し、センターリングを奥まで押し込む様に入れて引っ掛けます。この時点ではセンターリングのテープはテンションを掛けずにゆるめておきます。次に反対側のAフレームにもリッジポールを差し込みます。

注) Aフレームを全て伸ばした状態で行うよりも半分の高さまででセンターリングを引っ掛け、その後Aフレーム全部を継ぎます。Aフレーム、リッジポールやAフレームジョイントを曲げたり折らない為に、斜めに荷重が掛かる様にフレーム本体を持ち上げたり、強い風であおられない様に特に注意をして、風がおさまってから設営をします。

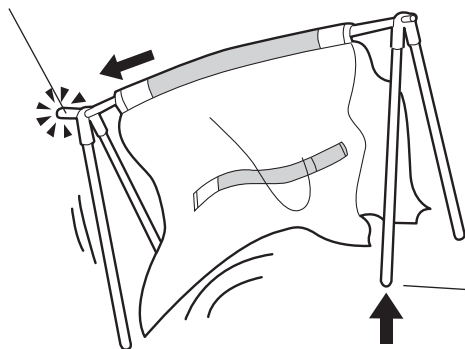


- ③ 本体の裾部にあるリングピンの紺色テープを持ちAフレームに差し込みます。
両側のセンターリングのテープのテンションを調節します。

注) リングピンをAフレーム端部に入れる時は、フレーム端部をしっかりと動かない様に持ち指をはさまないように気をつけながら差し込みます。フレームを持ちあげると反対側に荷重が掛かり、Aフレームリッジボールの端部を曲げる危険があります。AフレームリッジボールとAフレームジョイントが回る様に回転方向に持ち上げるとよいです。



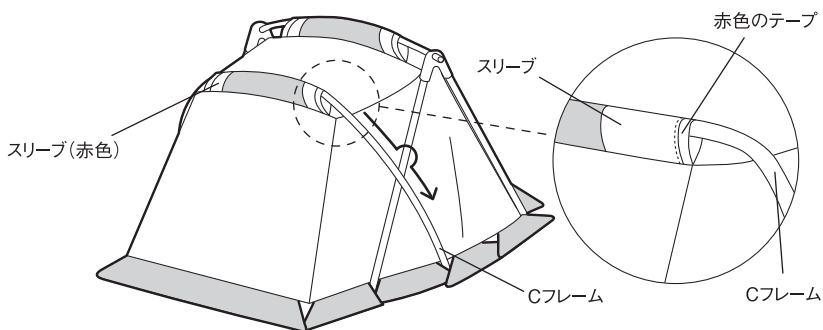
荷重が掛かり
曲げてしまう



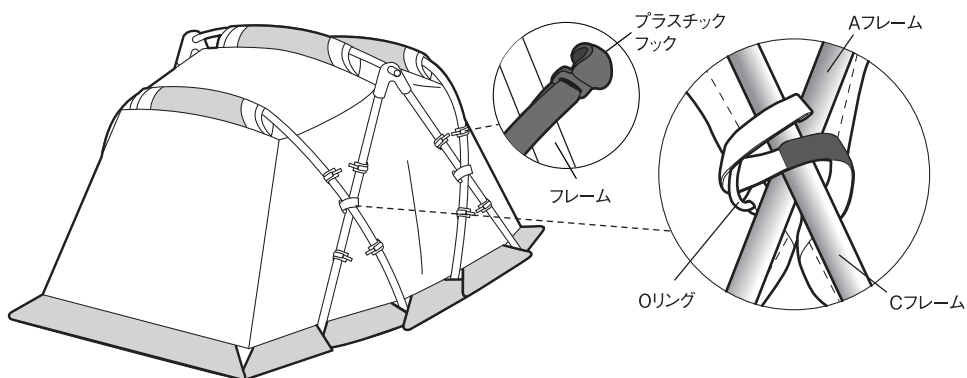
リングピンを差し込む際に矢印の様に持ち上げてしまうと、反対側のAフレームジョイント部のAフレームリッジボールに無理に荷重が掛かり曲げてしまう。

- ④ 赤色のシールのついたCフレームを少しずつ継ぎ両サイドにある赤色のテープがついたスリーブに通していきます。
次に③同様にリングピンを差し込みます。片側のCフレームを立てた後もう一方のCフレームもたち上げます。

注) Cフレームも、少しずつ継ぎ
スリーブに通します。
CフレームはAフレームの外側を通します。

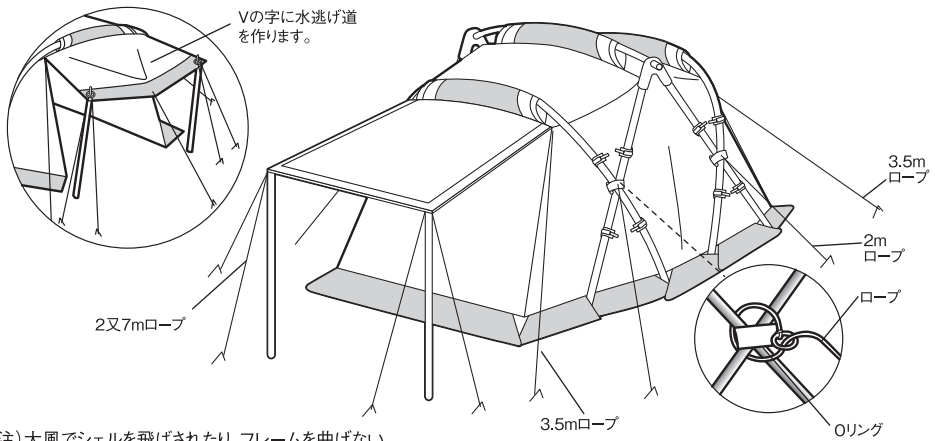


- ⑤ AフレームとCフレームに各々上から下へ順々にプラスチックフックを掛けます。
クロスフレーム部はベルクロ付テープをOリングに通して固定します。



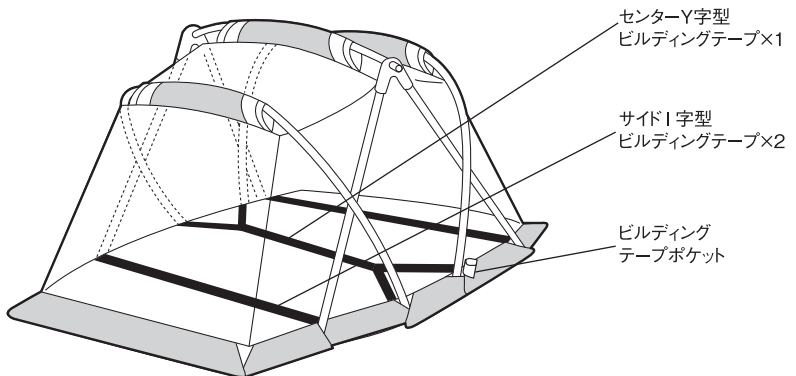
⑥ 裾部リングピンに付いている、ベグダウン用テープ及びベグダウン用ゴムループにジュラピンベグを通し、全てベグダウンをします。出入口用ドアパネルを貼り出す場合は付属のアルミポールを2本使い二又のロープで立ち上げて下さい。シワが残らない様にロープの方向を調整してください。

注) 降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますのでポールを斜めに倒し勾配をつけるか、ポールを短く使い、前面中央を大きくV字にロープで下げ、水の逃げ道をつくり溜まらないようにします。

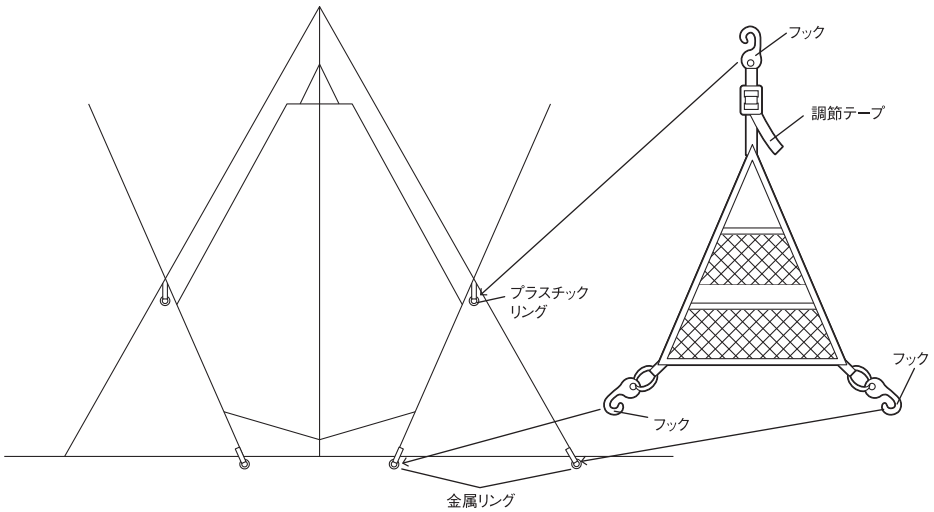


注) 大風でシェルを飛ばされたり、フレームを曲げない為にも張り綱は、しっかりとベグダウンしてください。

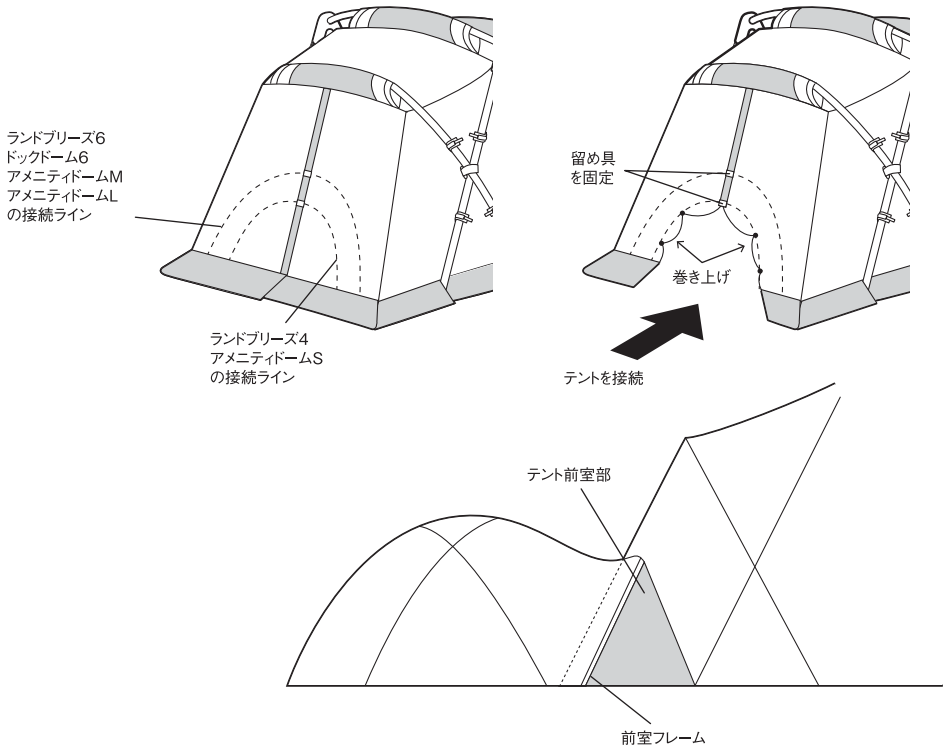
⑦ 最後にビルディングテープのバックルをはずし、テープをポケットに収納してください。



⑧ 室内側面下部にある三角パネル4ヶ所に、三角ポケット(×2)をお好みの箇所へ取り付けます。

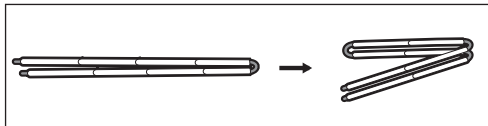


⑨ リビングシェルの後部にスノーピーク製テントを接続できます。お手持ちのテントの接続ラインを図でご確認いただきラインに沿ってパネルを巻き上げます。開口部にテントの前室フレームを入れ、接続します。



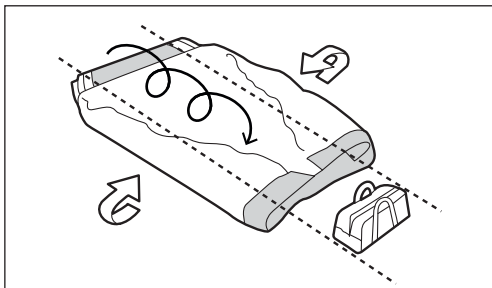
■収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 撤収の前にビルディングテープのY字型とI字型のバックルをセットします。次回設営時にペグダウンの位置が決まりやすくなります。
※Y、I字型部のペグダウンをシェルの外側から行なった場合本体が広がり、撤収時に再セットしにくくなりますので室内側でペグダウンされることをお勧めします。
- フレームをピンから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押して取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあり生地を傷める場合があります。
- フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。端から折り畳むとショックコードに負担がかかり伸びや切れ、フレームの曲がり、折れの原因になります。
- ペグを全て抜き、よごれを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。



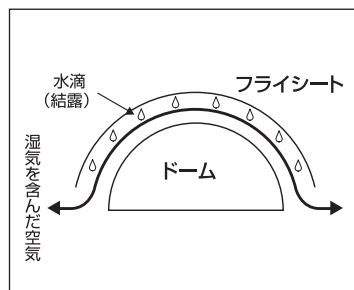
■ケースへの収納

- ①キャリーバッグの長さに合わせ、本体を折り畳みキャリーバッグの中に入れます。
- ②フレームやペグはそれぞれ付属の専用ケースに入れ、キャリーバッグに収納してください。むきだしの状態で収納すると本体生地やキャリーバッグを損傷することがあります。



■結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ボトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。




撥水・防水性能について

- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合がございます。

紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にもUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。
*UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。

メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次回の使用に備え、張り綱などの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかにリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。

こんなときは

Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに添え木などをあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

修理について

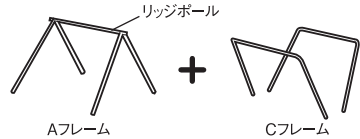
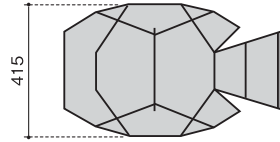
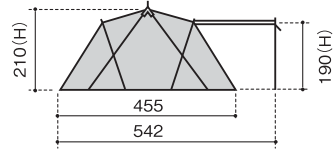
- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
 - 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
 - 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
 - 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
- 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

TP-623R リビングシェル

- 材質:本体/75Dポリエステルタフタ・70Dナイロンタフタ・遮光ピグメント・PUコーティング耐水圧3,000mmミニマム(ルーフ部)、PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム(ウォール部)・UVカット加工・テフロン撥水加工、マッドスカート/210Dポリエステルオックス・PUコーティング、フレーム/A6061(φ16mm+φ19mm)
- セット内容:本体、Aフレーム(×2)、Cフレーム(×2)、ジュラルミンペグ(21cm×22)、三角ポケット(×2)、コンプレッションベルト(×2)、自在付ロープ(3.5m×4、7m×2、2m×4)、シームシーリング剤、フレームケース、ペグケース、キャリーバッグ、アップライトポール(×2)、取扱説明書
- キャリーバッグサイズ:76×28×33(h)cm
- 重量:13.2kg(フレーム・ペグ・ロープ含む)

単位はcm



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

 **0120-010-660** (9:00~17:00)

Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel.0256-46-5858 Fax.0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA